

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

|   |  |
|---|--|
| (整理番号)<br>045   | 提案機関名<br>農業技術センター北相地区事務所                           |
| 要望問題名<br>大型機械を使用しないヘアリーベッチによる抑草対策   |  |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】<br>有機栽培に対応する抑草対策として、ヘアリーベッチの利用があり、導入がはじまっている。特に、近年では、耕作放棄地に新規参入した農業者の抑草対策として期待は大きい。しかし、そのすき込みには大型の農業機械が必要であり、装備の少ない新規参入者での導入は難しい。<br>新規参入者でも所有可能な管理機程度のみを利用した作業方法（すきこみ時期、適当な品種等）を明らかにして欲しい。<br>※対象地域：全県 |  |
| 解決希望年限  | ①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内            |
| 対応を希望する研究機関名  | ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター |
| 備考  |  |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

|         |  |      |              |
|---------|--|------|--------------|
| 回答機関名   | 農業技術センター   | 担当部所 | 生産技術部野菜作物研究課 |
| 対応区分    | ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可  |      |              |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合)<br>多様な担い手に対応するユニバーサル生産技術の開発   |      |              |
| 対応の内容等  | ヘアリーベッチは県内にも普及はじめており、その抑草効果やすき込みによる土壌施用効果が認められています。すき込み作業では、歩行型の機械、刈払機等の比較的安価な農業機械のみを利用した作業体系について平成28年度以降に試験を実施します。試験設計作成においては助言をお願いします。 |      |              |
| 解決予定年限  | ①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内  |      |              |
| 備考      |  |      |              |